

平成 28 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	黒野児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市古市場20番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,646,628円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,284.56㎡ ◇延床面積:599.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、勉強室、体育室、事務室 ※岐阜市立黒野保育所との合築		

●利用状況

		H28上半期	H27下半期	H27上半期	H26 下半期	H26 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	14,190	11,216	13,857	12,232	14,381
	移動児童館利用者数	778	467	1,053	678	1,233
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	18	14	14	14	17
	開館日数(単位:日)	157	151	156	151	156

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤)、常勤職員3人。(児童厚生員は、所長を含め4人) ③毎月、児童用・幼児向けの広報紙及び子育て支援カレンダーを作成・配布・掲示依頼を行い、ホームページにも掲載。中日ホームページに事業案内を掲載。 ④利用者の要望を理解し、運営。アンケート調査結果を館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。保育所休日対応のため、マニュアルに基づき警備保障器具の点検を実施。 ②就労促進事業施設整備班による屋内外清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、冷暖房節約、節水に努めた。また、地域や母親クラブの協力により集まった牛乳パックやラップの芯などを行事の材料にして利用した。 ④「おもちゃ病院」に児童館のおもちゃの点検、修繕をお願いし、使用期間を延長した。屋外遊具の安全点検を業者が年2回、職員が毎月1回行う。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 平成28年7月6日～7月28日 幼児クラブ参加の保護者52人にアンケート(無記名)を実施。 回答者数52人(100%) 【児童・生徒用アンケート】 平成28年8月16日～9月30日 来館した児童・生徒40人にアンケート(無記名)を実施。 回答者数31人(78%) (1年8人、2年7人、3年4人、4年4人、5年5人、6年1人、中学生2人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 ○今までに参加したクラブ名(複数回答可) びよびよくらぶ(1歳半以上親子くらぶ)22人、スマイルひろば(0歳親子ひろば)17人、リトミックくらぶ(1歳半以上の親子リトミックくらぶ)15人、たんぽぽひろば(1歳以上親子ひろば)13人 ○クラブを知ったきっかけ 友人15人、館内の貼紙11人、ホームページ11人、子育てカレンダー7人、幼児版たより5人、保健師3人、その他2人 ○幼児クラブについて 満足45人、ほぼ満足7人、やや不満0人、不満0人 ○幼児クラブに参加したお子さんの様子 ・人見知りの子が少しずつコミュニケーションがとれるようになってきた。 ・家でできないことができたり、同世代の子どもと触れ合えて刺激になった。等 ○幼児クラブでの好きな活動について 小麦粉ねんど、体操、ボールあそび、新聞紙あそび、紙芝居 等 ○職員の対応について 満足48人、ほぼ満足4人、 やや不満0人、不満0人</p> <p>【児童・生徒用アンケート】 ○児童館にあるおもちゃで好きな遊び・おもちゃは ・ボール遊び 22人、・UNO 17人、・人生ゲーム 14人、・一輪車 14人、・ぬりえ 14人 等 ○今までで楽しかった行事は ・UNOにチャレンジ、・恐竜のたまごを作ろう、・おりがみにチャレンジ、・バンパープール大会 等 ○これからやってほしい行事は ・アイスストラップ作り、・ドッチボール大会、・プラバンキーホルダー作り 等 ○児童館にあつたらいいと思うおもちゃ・本は ・シルバニアファミリー、・ラジコン、ちゃお(マンガ雑誌)、・バスケットゴール 等</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ○季節の催しものがあると嬉しい。⇒1学期は、こいのぼりを作ろう・七夕飾りを作ろう・プールあそびなどを企画しました。2学期にも、味覚狩りごっこ・ハロウィンごっこなど季節の行事を組み込みました。楽しみにして下さい。 ○大きな遊具があるといい。⇒大きな車が走るスペースなどが必要なため、安全性を考慮すると難しいです。申し訳ありません。 ○先生の撮った写真がほしい。⇒プライバシーの観点から館として写真の提供はできかねます。大変申し訳ございませんが、ご了承いただけますようお願い致します。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表（館内掲示など） ・広範で適切な広報活動の実施（ホームページなど）	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性（収支計画の妥当性など）	・収支計画に沿った運営（予算書に沿った執行）	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策（防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>□地域に根ざしたアットホームな児童館をめざし、児童館の玄関まわりも、おたよりや館内の掲示、行事案内のポスターなど充実させ、明るく楽しい雰囲気にしたので、利用者から好評を得た。 □アンケートから出たおもちゃや絵本の要望などを検討し、予算を調整して購入したところ、大変喜ばれた。 □幼児クラブの活動メニューを見直し、改良を重ねて、参加されるみなさんから喜ばれるものを多く提供できた。 □今期も、さらに新しいぬりえや色鉛筆、ごほうびのスタンプを増やして幼児や小学生に好評を得た。 □日本の四季を感じる行事にも重点を置き、作品作りの行事などを通して豊かな心を育てる努力をした。 □日頃のコミュニケーションの中で、利用者ニーズをつかめるよう職員全員が心がけた結果、収集した要望を行事や母親クラブの活動に活かす事ができ、好評を得た。 □問題行動を繰り返したり、見守り支援が必要な子どもに対しては、学校の生徒指導の先生を中心に、子育てネットワークの委員さんや、保健師との連携をさらに密にし、地域全体で見守る体制となった。 □日常のあそびの中でも国際交流を深めつつ外国籍のみなさんにも楽しんでもらえるように、誰でも参加できる「おりがみにチャレンジ」を定期的開催し、季節のおりがみなど一緒に作りながら、なかよくなり、さらに交流が深まった。 □研修会などで取得した行事のメニューなどは、職員全員で伝達講習をし合い、職員間で独自に試行錯誤し、アレンジをして活動に生かした。 □今年度も中央青少年会館主催「青少年のためのスキルアップ講座～こころをつかんで、小さい子を楽しませよう！～」の依頼があり、黒野児童館で受け入れた。(来年度もまた引き続き依頼有り)</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>□日頃のコミュニケーションやアンケートなどで利用者の要望を把握し、分析することで活動の内容をニーズに合ったものになるように努めた。また、児童にもアンケートなどでニーズを分析し、おもちゃの購入や行事など活動に活かすことができた。 □外国籍のみなさんも、日本の四季や文化にふれてもらえるよう、児童館でおりがみや伝承あそびを楽しめるようにした。 □今期も引き続き「育児何でも相談」を定期開催し、臨床心理士の先生に子育て不安の解消が出来る場を提供した。 □子育てネットワーク会議にて、地域の子育てに関係する各種団体や幼稚園、保育所、保育園などと情報を共有し地域の子育ての現状や見守りの確認など、連携を密にし、地域の子育て支援に努めた。 □黒野西郷子育てネットワーク事務局として子育て支援カレンダーを毎月作成し、地域の子育て支援情報を発信し、利用者に喜ばれた。 □児童館での子どもの様子について、学校の先生方はもちろん、保健センターとも連携を密にし、情報を共有して職員全員が見守り、関係諸団体と連携を継続した。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□増加する外国籍のみなさんが黒野児童館で楽しく過ごしていただけるように、引き続き、日本語以外の掲示もできる限り増やして対応していきたい。 □地域の子育て中のみなさんが、1人で育児に悩まず、黒野児童館で気軽に職員や子育て中の親さん同士と話せる機会や場所があるということを、多くの子育て家庭に知っていただけるよう児童館の広報をさらに努め、楽しい子育てが出来るように支援したい。 □移動児童館や親子ふれあい教室、団体利用の機会を利用し、児童館の広報を継続したい。 □臨床心理士による、どなたでも気軽に相談できる機会として、毎月、専門家による「育児なんでも相談」の定期開催を継続し、子育て中のお母さんの育児不安の解消や虐待防止等につなげたい。 □おたよりや館内掲示をさらに充実し、「また来たい」と思っていたいただけるような、明るく楽しいアットホームな児童館を目指したい。 □0歳から18歳までの切れ目のない対応ができる児童館の利点を発揮できるよう、さらに地域の関係諸団体のみなさんと連携し、情報を共有して、地域のみんなで子どもたちを見守っていききたい。</p>

●所管課の意見

毎月の児童用のおたよりを担当小学校全児童へ配布のほか、幼児向けのおたよりや子育て支援カレンダーを作成し、地域の子育て支援ネットワークや保健師さんを通じてなど様々な方法で配布を行うほか、ホームページにも掲示し、また中日タウン情報誌「わっちとおまはん」に掲載依頼を行うなどの広報活動を行っている。

併設する黒野保育所との交流事業として園庭開放に参加し、地域の乳幼児の遊び場紹介を行うほか、児童館の行事に保育所との交流の機会を設けたことや、親子ふれあい教室から立ち上がった新しいサークルの支援、また、保健師による子育てワンポイントアドバイスや相談コーナーの開催をするなど、地域の子育て支援に努めている。

また、支援が必要な子供に対して、子育てネットワークの委員や、保健師、学校、保育所など関係諸団体との連携を密にし、情報を共有しながら、地域で見守る体制を引き続き取っている。

職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・外国籍の利用者が多いが、その対応に工夫が見える。そのノウハウを他の児童館とも共有してほしい。
- ・サークルの支援など地域の子育て支援を積極的に行っていることや、地域と連携し子どもを見守る体制を構築していることについて評価でき、今後とも継続していただきたい。
- ・施設内での飲食については各施設の利用者アンケートなどにより要望も多い為、安全面、衛生面に配慮し、可能な限り取り組んでほしい。
- ・利用者アンケートについて、「満足」・「不満」・「やや不満」などの選択肢があるが、ごく少数ではあるが「不満」・「やや不満」などの意見は業務の改善や利用促進の貴重な意見であるため、「不満」・「やや不満」の意見の場合、「なぜ不満なのか」、「どうなるとよいのか」を聞き取れるようなアンケートの仕組みにしていきたい。
- ・管理運営は適正に行われており、良好と認められる。